

従業者向け

児童発達支援評価表

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		避難経路は段差があり、バリアフリーではない。避難経路を使って避難をしても結局玄関に行きつく。別の場所に避難できない。裏の駐車場などに出る道があれば良い。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		今後も職員全体で振り返りと改善を重ねながら、より良い支援の提供に努めていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		いただいたご意見は業務改善のための貴重な情報です。参考とし、今後の業務につなげてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9		外部評価を受け、さらなる業務改善に努めています。職員間でも課題や改善点を共有しながら、全体で継続的な業務改善に取り組み、より質の高い支援の提供につなげていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		今後も外部研修や事業所内研修等を通じて専門性の向上を図り、より質の高い支援の提供に努めていきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		子どもたち一人ひとりに対しアセスメントを行い、お子さまや保護者の方のニーズを踏まえた児童発達支援計画作成と支援の充実に努めていきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		関係職員が相談・検討を行いながら児童発達支援計画作成を行っています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		いくつかの保護者用アンケートを使用して適応行動評価を行い、活動内容、課題設定に反映させています。それらの情報を参考に資、引き続き、支援の充実に努めていきます。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		今後もガイドラインに基づいた支援計画の作成と支援の充実に努めていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		クラス担当職員が相談を重ねながらプログラム立案を行っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		一人ひとりの発達段階、特性などに配慮した支援計画作成を心掛けています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		今後も職員間の情報共有と連携を大切にしながら、質の高い支援の提供に努めていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		打ち合わせの中で、振り返り、反省、改善点など次につながる情報の共有を行い、支援の質向上に努めています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		モニタリングを定期的に行い、その内容を保護者の方とも共有しています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		子どもたち一人ひとりが安心感を持ちながら就学を迎えられるよう、丁寧な連携を心掛けています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	9		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9		定期的にスーパーバイザーを招聘し、活動内容や設定、考え方など助言を受け、支援の質向上に繋げています。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	8	1	できるだけ多くの職員が参加できるよう体制を整えていきたいと考えています。
	31	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		
	32	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		ペアレントトレーニングをはじめ、保護者の方向けの研修・交流会等の機会を設け、広く参加を呼び掛けています。

保護者への説明等	33	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		
	34	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		
	35	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		
	36	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		今後も関係する法律や規程に基づき適切な管理を行い、個人情報の保護を徹底していきます。
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		年間研修内に必要な研修・訓練を組み込み、職員全体で受講、情報の共有に努めています。
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		年間研修内に必要な研修・訓練を組み込み、職員全体で受講、情報の共有に努めています。
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		アレルギー情報も含め事前に確認を行い、安心感をもって活動に参加していただけるよう努めています。
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		必要に応じて医師の指示書に基づく対応を行う用意があります。
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		事業所内での共有だけでなく、再発防止に向け必要な情報の共有、方策の立案を行っています。
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		年間計画に研修を組み込み、学びを深めています。
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		